

私たちのふるさと城南校区

第2期(令和4年度～8年度)

# まちづくりプラン

(地域振興計画)



自然の偉大さや愛郷心を学ぶ『城南維新かこ(水夫)カヌー大会』

## 城南校区まちづくり協議会

所在地 〒892-0835 鹿児島市城南町1-1

TEL/FAX 099-213-9072

E-mail shiokaze-jyounan@keb.biglobe.ne.jp

## 城南よさこい

- 一 春は柳の わか芽に明けて  
ビロー並木に みなみ風  
可愛いあの娘は 心のなかに  
吹いてうれしい 恋の風  
ホンニ城南 よいこころ
- 二 幼なじみの 清滝川に  
映える思い出 いつまでも  
まちに人情の 笑顔が咲いて  
語るこぼばに 血がかよう  
ホンニ城南 よいこころ
- 三 燃えるばかりが 能ではないよ  
こちらこらんよ 桜島  
燃えて働く 希望のまちが  
ここにあるのを 忘れずに  
ホンニ城南 よいこころ
- 四 みなと新港 入船出船  
送り迎えの 沖小島  
きょうも明るい 錦江灣が  
波に幸せ のせてくれる  
ホンニ城南 よいこころ



## まちづくりプラン策定にあたって

城南校区まちづくり協議会

会 長 永 田 哲 夫



平成から令和へと新しい時代が訪れました。

城南校区の住民の皆様には、新型コロナのまん延が拡大し、  
いろんな面で制約を受け、気持ちも落ち着かない日々をお過ごし  
のこととお察し申し上げます。

城南校区まちづくり協議会は平成29年度に1期目が始まり、令和3年度で5年間の計画期間が終わりました。最後の2年間は、コロナ感染防止のため、多くの事業を計画どおり実施できず、中止または延期せざるを得ませんでした。

残念ながら、まだ収束するに至っておりませんが、1期目を振りかえり、次期プラン策定委員会において、これまでの5年間の反省と評価を各面から検討して、2期目（令和4年度～8年度）のプランを策定いたしました。

これからの時代は、少子高齢化が一層進み、「人と人のふれあい」「絆」が希薄になる中で、協議会の役割も大きなものがあります。スローガンにもあります『潮風薫る歴史と文化 人情と笑顔があふれ 希望の花咲く ふるさと城南』を目指して住民と一緒に「まちづくり」を進めてまいりますので、ご協力よろしく願いいたします。



## 『 目 次 』

I	校区の概要	・・・・・・・・	P 1
	( 校区の現状 校区の歩み 町名の変遷と由来 校区の特徴 校区の人口の推移 )		
II	1 期目の活動を振り返って	・・・・・・・・	P 4
	各部会等の反省 1 期事業 (5 年間) 評価		
III	城南校区まちづくり協議会の活動	・・・・・・・・	P 10
	1 目標設定の視点	・・・・・・・・	P 10
	2 まちづくりの目標	・・・・・・・・	P 10
	3 運営方針	・・・・・・・・	P 11
	4 協議会の組織	・・・・・・・・	P 12
	5 活動の体系	・・・・・・・・	P 13
	6 各部会等の活動	・・・・・・・・	P 14
	(1) ふるさと部会	・・・・・・・・	P 14
	(2) きぼう部会	・・・・・・・・	P 15
	(3) すこやか部会	・・・・・・・・	P 16
	(4) げんき部会	・・・・・・・・	P 17
	(5) 三役会・事務局	・・・・・・・・	P 18
	資 料		
	○ 主な史跡・施設・街並み等	・・・・・・・・	P 1
	○ 各町別の人口	・・・・・・・・	P 2
	○ 構成団体アンケートの調査結果	・・・・・・・・	P 4
	○ プラン策定委員会名簿	・・・・・・・・	P 5

# I 校区の概要

## 1 校区の現状

私たちの城南校区は、錦江湾に浮かぶ郷土のシンボルでもある勇壮な桜島を目前に臨み、市の中央部を流れる甲突川の清流に包まれ、鹿児島市最大の繁華街天文館に接する環境の中に位置するとともに、藩政時代は城下町として栄え、あちこちに塩田が見られ塩づくりが盛んに行われた地域であった。

また、地域活動は町内会をはじめとした様々な地域コミュニティ組織（各種団体）が、積極的に住民のふれあいや学習活動、青少年の健全育成、防犯活動などを中心としたふるさとづくりに、住民みんなが和気あいあいのもと熱心に取り組む素晴らしい気風が見られる。

## 2 校区の歩み

薩隅日地理纂考（明治4年）で見ると「塩竈神社の祭神は塩土老翁、この地日武村のうちなりしを分かちて塩屋村とす。寛永5年建立なり」と、この一帯は塩田であった様子が伺える。三国名勝図会には『かねの音も波にぞ響く暮深さこの山寺は海近くして』とよまれた松原山南林寺があり、当時最も広い南林寺墓地も広がっていた。

明治時代になって埋め立て工事が一段と進み新屋敷町や洲崎町が誕生した。大正時代には南林寺町が誕生し、さらに時代は進んで昭和38年9月洲崎町の一部が城南町や錦江町となった。

昭和42年4月鹿児島市と谷山市が合併した際、塩屋町は甲突町と改名され、現在新屋敷・甲突・南林寺・城南・錦江の5町をもって城南校区を構成している。

## 3 町名の変遷と由来

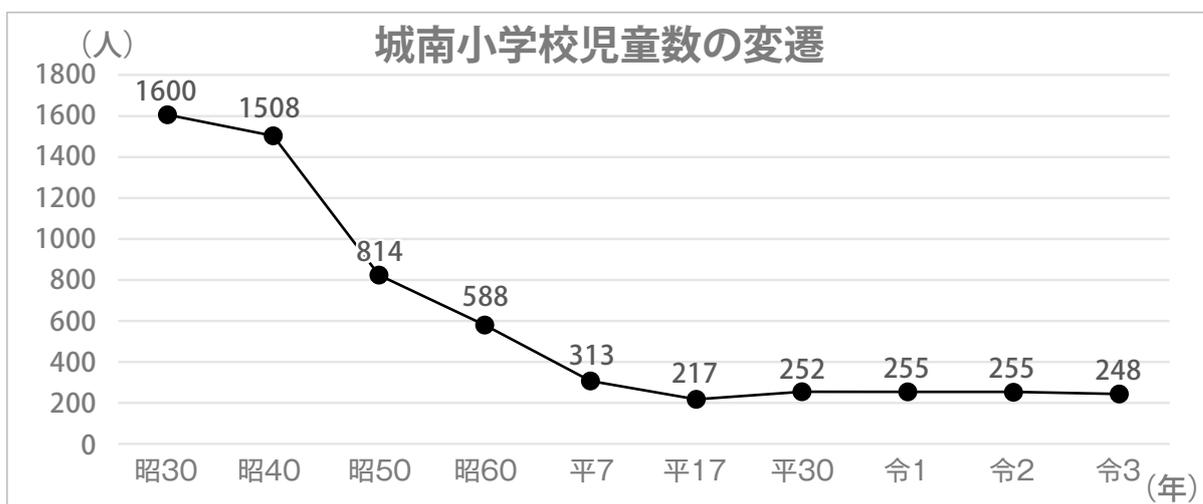
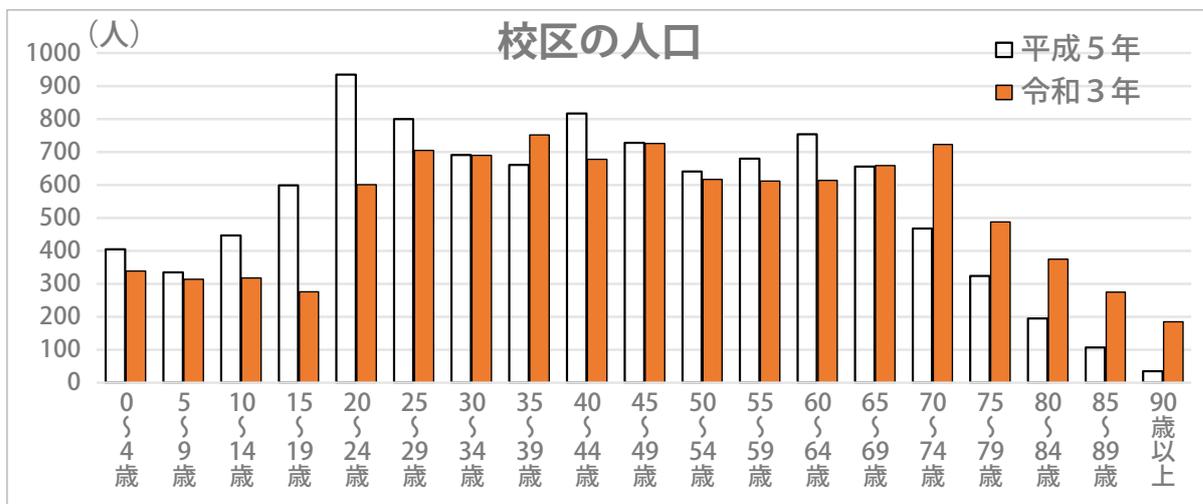
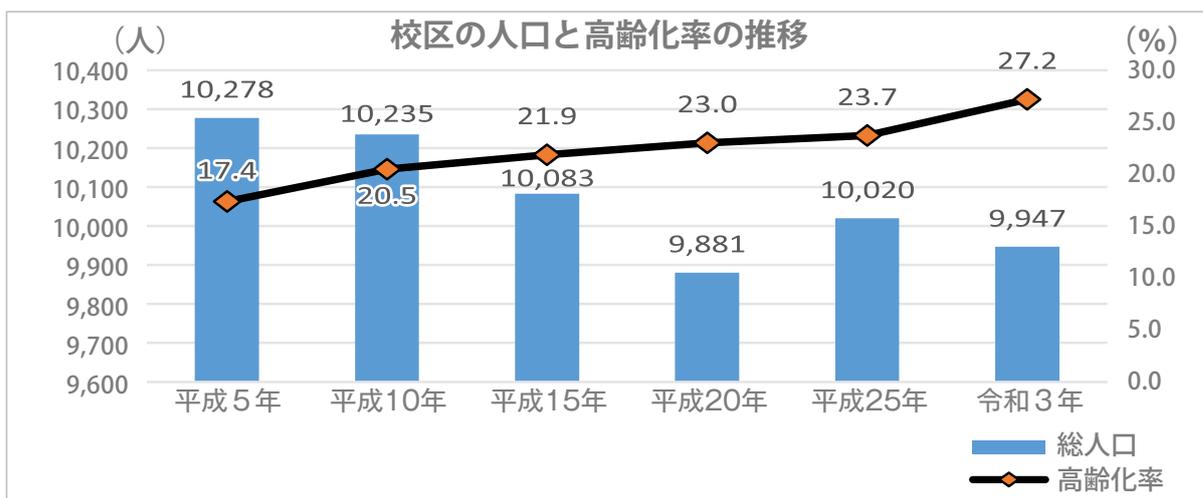
江戸時代	洲崎塩浜（塩田）	塩屋村（武村の飛地・田んぼ）
明治時代	大門口海岸埋立て （住吉・堀江・松原と4分割） 洲崎町誕生（明治39年）	甲突川下流域埋立て 「新屋敷通町」（明治22年市制施行） 新屋敷町誕生（明治32年） 〈武村・草牟田村・鹿児島市の合併〉 塩屋町誕生（明治44年）
大正時代	南林寺墓地完成により松原町の一部編入 南林寺町誕生（大正13年）	



## 5 校区の人口の推移

平成5年度と令和3年度の人口（市推計人口）を比較すると、急激ではないが、減少傾向にあることが分かる。校区においても若年層の人口の減に加え、高齢者層の人口が増え、高齢化率が伸びていることがわかる。

小学校の児童数は、昭和30年1,600人を超える頃もあったが、その後減少傾向に転じ、現在は250人前後で推移している。



## Ⅱ 1 期目の活動を振り返って

城南校区まちづくり協議会発足後、できるだけ早くまちづくりプラン（地域振興5ヶ年計画）を策定すべくアンケート調査をはじめ各面から検討を進め、平成29年4月1日に42項目にわたる事業を盛り込んだプランが出来上がりました。

初年度から、事業に取り組んで参りましたが初めての事業もあり、部会ごとに実施する事業で戸惑いもありましたが、城南校区全体の力でこれを乗り越えて参りました。

しかしながら、平成の終わりから令和にかけての最後の2年間は、新型コロナ禍の基で、多くの事業が中止、又は延期になり、まちづくりプランに支障をきたしました。

以下、4部会の主な事業を振り返ってみました。

### 1 ふるさと部会

○ 「甲突川とカヌー体験《城南維新かこ（水夫）カヌー大会》」は、城南小学校5・6年生を対象に実施した。天保山橋から西田橋付近を往復するコースで、本番までに小学校のプールや甲突川での練習を重ねてきた。大会には、練習から本番まで市カヌー協会や学校、PTA、地域の皆さんの協力が大きかった。子どもたちは、カヌー体験を通じて、頑張りぬく心や多くの方々への感謝の気持ちを学んだ。コロナ感染防止のため、2年間中止になったが、今後城南校区の一大イベントを目指したい。また、城南小学校創立90周年にちなんで、少しでも自前でカヌー艇を持つため、寄付金の募集を行った。



城南維新かこ(水夫)カヌー大会

○ 「危険箇所点検・環境浄化」は学校、PTA、町内会と一緒に、子どもたちのたまり場となるような空家・空地・暗がりや公園・道路・河川などの危険箇所、有害図書自動販売機等の点検を行った。関係団体が危険箇所の認識ができ、防犯・危険予知上の参考になった。5年間実施でき、最終年度は、青色防犯パトロール隊とも連携して、町ごとに危険箇所を地図に表示できた。仕事の関係もあると思うが、地域の皆さんの参加が少なくなってきた。

○ 「防犯（安全）パトロール」については、令和2年10月「青色防犯パトロール隊」を発足させることができた。毎週月、木曜日に2班に分かれて城南校区の防犯活動として、空き家、空き巣、声かけ事案等の未然防止のため、パトロールを行っている。また子どもの見守り活動と併せて、地域の犯罪抑止と住民の防犯意識の高まりに役立っている。



青色防犯パトロール隊

○ 「城南校区暴力追放総決起大会」は、住民総参加のもと、暴力追放の集会を開き、あらゆる暴力の追放やいじめの根絶など防犯意識を高める決起大会を行ってきた。協議会発足以前からの30数年の間、開催してきた。「継続は力なり」といわれるとおり、犯罪等の未然防止に寄与している。後半の2年間は、新型コロナウイルス感染防止のため中止してきた。住民の高齢化が進み、参加者が減少傾向にあり、若い方々の参加が望まれる。



城南校区暴力追放総決起大会

- 「城南夏祭り」は、計画を模索してきたが、実施するには多大のエネルギーが必要である。町内会独自で実施しているところもあり、全体として実施できなかった。
- 「暗闇点検」は、1期目は実施してきたが町内会に任せるべきとした。
- 「ごみ問題を考えるつどい」は、1回だけ実施したが、今後は町内会に任せるべきとし、必要が生じた場合は、研修会を実施したい。

## 2 きぼう部会

○ 「城南ふるさとまつり」は、ふるさとの歳時行事「七夕まつり」の継承を図り、中学生が主体となって、様々なイベントを企画し、幼児から中学生の異年齢間のふれあいと地域住民との世代間交流の場として、約400人もの参加があった。



城南ふるさとまつり

甲突川の河畔での行事で、あいご会や町内会、社会福祉協議会など多くの団体が協力して大々的に行われてきており、協議会の大きな行事の一つとして根付いてきた。新型コロナ禍での実施は、子どもたち中心ということもあり、後半の2年間は中止に至った。

○ 「昔の遊びをしよう」は、子どもたちが郷土の伝統文化である正月遊びや餅つきに挑戦し、正月行事の由来を学んだ。



昔の遊びをしよう

子どもたちは凧の揚げ方やコマの回し方、羽根突きなどを高齢者から教えてもらったり、おやじの会等の協力をもらって、初めての餅つきに挑戦したりしている姿は、微笑ましい光景であった。今後とも、昔からの行事を子どもたちに伝える重要性を感じた。

- 「立志祝」は、昔でいう元服を迎えた中学2年生を地域ぐるみで祝福し、将来の目標を立てる大切さや社会を生き抜くための心構えを考えさせる機会として実施している。



立志祝

先輩方の講話や6年生の時の先生の話をつき、それぞれが、今後の自分の目標等を発表することで、今後の人生を生き抜く自信につながった。また、別々の中学校に行った友達との再会の場でもあり、同窓会みたいに楽しんで、喜んでもらった。

- あいご会が中心になって協議会と連携して実施している「子ども神輿」については、市主催の無病息災を願った「祇園祭り」に、6年生の子どもたちが城南小の最後の思い出として参加している。神輿を「ワッショイ!ワッショイ!」のかけ声で仲間と息を合わせて担ぐことで、絆がより一層深まった。後半の2年間は、市の行事が中止になったので、最後の年に、地域の住民の作製した神輿で校区回りをした。みんな楽しいひと時を過ごすことができた。



子ども神輿

- 「子育てを学ぶ大人のつどい」については、1回の実施で、子育て支援会議とも重複するところがあり、校区単独での事業としては限界があった。

- 「思い出づくり(グラウンドゴルフ)」はコロナ禍で様々な行事が中止となるなか、6年生の思い出づくりとして校区民の参加で開催した。子どもたちの参加している行事なので、感染対策に気を使いながらの開催であったが、青空のもとで笑顔いっぱい、とても楽しくふれあいができた。



グラウンドゴルフ大会

### 3 すこやか部会

- 「ふれあいグラウンドゴルフ大会」は、地域福祉の原点である子どもから高齢者がふれあう交流をすることにある。これまで、放課後こども教室(あこう教室)や児童クラブの子どもたちと老人クラブや地域の住民とで実施してきた。



社会学級(男の料理教室)

- 「社会学級(成人・女性学級)」については、時代に対応できる能力や豊かな社会生活に必要な教養を身につけるため年間計画(10回程度)を立て、実施してきた。人権問題や消費生活問題などの講演

会や干支づくり、正月飾り、人形（ラ・ドール）づくりなど生きがい、仲間づくりが  
でき、充実した学習活動ができた。

- 「ふるさと歴史めぐり」は、明治を中心に活躍した偉人ゆかりの地や史跡を訪問し、ふるさとの歴史や文化を学んだ。これまで、市内の偉人や史跡等や日置市の小松帯刀墓地、入来の伝統的建造群保存地区、南さつま市の竹田神社など見学した。改めて認識したことが多く、大変参考になった。



ふるさと歴史めぐり（竹田神社）

- 「声かけと見守り活動」については、5年間実施してきたが、実際は民生・児童委員、各町内会、社会福祉協議会で実施している。
- 「ふれあいサロンの開設」については、5年間実施できなかった。サロンのなごととして町内会や老人クラブで「お達者クラブ」、「ふれあい給食」を実施している。

#### 4 げんき部会

- 「校区大運動会」については、校区最大の伝統行事として、住民総参加のもと、親睦と融和をはかるため、協議会発足以前から実施してきた。町内会、あいご会、PTA、学校など協力体制のもとで実施し、特に中学生が運営に積極的に参加し、城南校区が一丸となり、団結力が発揮され、校区の活性化が図られた。後半の2年間は、コロナ感染拡大の影響で中止した。



校区大運動会

- 「城南一日一運動の推進」については、これまで町内会やあいご会が中心となって実施してきたが、今後は、各町内会や団体に任せたい。

#### 5 事務局

- 広報紙「しおかぜ」の発行については、予定通り発行できた。構成団体への広報が不足していた。また「ホームページ」は開設できなかったが、次期プラン活動での開設を目指したい。



広報紙「しおかぜ」

## 6 1期事業（5年間）の評価

評価基準（ A：よくできた B：概ねできた C：できた D：ややできなかった  
E：できなかった） —：事業が実施されなかった）

番号	事業名	評価(年度)					継続	備考
		29	30	元	2	3		
【三役会・事務局】								
1	広報誌「しおかぜ」の発行	B	B	B	B	B	継続	配布の工夫が必要
2	「ホームページ」の開設	E	E	E	E	E	継続	
【ふるさと部会】								
3	甲突川とカヌー体験	準備	A	A	中止	中止	継続	コロナ禍で中止
4	城南夏祭り	準備	準備	—	—	—	継続	校区全体では困難であった
5	防犯（安全）パトロール	準備	準備	準備	A	A	継続	青色防犯パトロール隊の発足
6	六月灯安全見守り活動	B	B	C	中止	中止	継続	六月灯中止の為中止
7	防火・防災と減災活動	E	A	C	—	—		
8	危険箇所点検環境浄化	B	A	C	B	A	継続	
9	暗闇点検	C	C	B	C	C		各町内会での実施へ
10	暴力追放事前学習会	B	B	C	中止	中止	継続	コロナ禍で中止
11	城南校区暴力追放総決起大会	B	B	B	中止	中止	継続	コロナ禍で中止
12	「クリーンシティがこしまの日」地域一斉清掃	D	C	C	C	C	継続	
13	ゴミ問題を考えるつどい	E	B	E	中止	中止		各町内会での実施へ
【きぼう部会】								
14	笑顔いっぱいあいさつ運動	D	C	B	A	A	継続	
15	城南ふるさとまつり	A	A	A	中止	中止	継続	コロナ禍で中止
16	立志祝	A	A	A	B	C	継続	
17	城山登山歩こう会	B	B	B	D	D	継続	
18	昔の遊びをしよう	A	A	A	中止	中止	継続	コロナ禍で中止
19	中高校生と語る会	C	B	B	中止	中止	継続	コロナ禍で中止
20	子育てを学ぶ大人のつどい	C	E	E	E	E	継続	

番号	事業名	評価(年度)					継続	備考
		29	30	元	2	3		
21	児童クラブへの運営支援	C	B	B	B	B	継続	
22	城南子育て支援会議	E	E	E	E	E	継続	
新	6年生の思い出づくり(新規事業)				A	A		2年度から、コロナ禍の代替事業として実施
【すこやか部会】								
23	声かけと見守り活動	C	B	A	C	A	継続	
24	ふれあいサロンの開設	-	-	-	-	㊦	継続	町内会等では実施。今後はミニサロンとして実施
25	ふれあいグラウンドゴルフ大会	E	B	A	A	A	継続	
26	福祉施設と事業所等訪問	C	A	B	㊦	㊦	継続	コロナ禍で中止
27	成人学級の開講	B	A	B	C	B	継続	今後は社会学級として統合
28	女性学級の開講	B	A	A	B	B	継続	
29	人権問題研修会	B	A	A	㊦	㊦	継続	コロナ禍で中止
30	家庭教育学級への支援	E	A	A	D	A	継続	
31	ふるさと歴史めぐり	E	A	A	㊦	A	継続	コロナ禍で中止があった
32	ハンドメイドづくりで世代間交流	B	B	B	B	A	継続	
33	男の料理教室	A	A	A	㊦	㊦	継続	コロナ禍で中止
34	かごま弁で語りもんそ会	D	C	A	㊦	㊦		コロナ禍で中止 今後は社会学級で実施
35	ミニ展示会	B	B	A	㊦	㊦	継続	ミニサロンとして実施
36	福祉館・中央公民館との連携	B	A	A	D	B		事務局で対応
【げんき部会】								
37	城南「一日一運動」の推進	E	B	A	㊦	㊦		各団体で実施
38	校区大運動会の開催	A	A	A	㊦	㊦	継続	コロナ禍で中止
39	楽しく学ぶストレッチ体操ニュースポーツ教室	E	C	C	㊦	㊦	継続	コロナ禍で中止
40	少年団活動の育成・支援	E	A	B	B	B	継続	
41	健康体力づくり相談活動	研	-	-	-	-	継続	統合して一つの事業に
42	住民体力テスト会	研	-	-	-	-	継続	

### Ⅲ 城南校区まちづくり協議会の活動

#### 《スローガン》

『潮風薫る歴史と文化 人情と笑顔があふれ  
希望の花咲くふるさと城南』

#### 1 目標設定の視点

- (1) 本校区、特に新屋敷、南林寺、甲突町は、藩政時代から塩田を利用した塩づくりが盛んに行われ、先人たちが築いた歴史や文化も塩との関わりの中で発展の経過をたどっていると言える。 『歴史・文化・自然』
- (2) 本校区は、鹿児島市の繁華街に隣接し、商業地となり事業所や企業が点在するとともに、住宅も一戸建てからマンションへと街並みも都市化へと変化が進み、住民同士の交流・ふれあいの機会が衰退するなどの緊要な課題が見られる。さらに、少子高齢化など急変する社会環境の変化を考えると、これまで以上に人情味や明るく笑顔があふれ、共に支え合うやさしい地域が求められている。 『人々のつながり』
- (3) 地域づくりの基本でもある地域住民の願望を取り入れた推進計画「コミュニティプラン（地域振興計画）」を策定し、住民総参加のもと目標達成に努め、安心安全で夢と希望に満ちた地域づくりを目指したい。 『次世代へのバトンタッチ』
- (4) 地域住民が常に親しみを持ち、共通意識のもと積極的な地域づくりを目指すスローガンとした。 『心の結集』

#### 2 まちづくりの目標

- (1) スローガンをもとに校区住民の心を結集して明るく、安全なまちづくりを目指します。
- (2) 地域の課題や住民の要望を生かした様々な事業を通して、住民間のふれあい交流の充実に努め、「絆や結の心」が育まれるように努めます。
- (3) プランの実践に際し、構成団体間の連携協力が最大限にいかされるように定期的な役員会や運営委員会、部会を開催して協議会活動の拡充に努めます。
- (4) 城南の歴史や文化を学び、先人が築いた良き伝統を受け継ぎ、新しい時代のニーズに柔軟に対応したまちづくりを進めます。

### 3 運営方針

- (1) 「城南校区は一つなり」を合言葉に、民主的で地域主体のまちづくりを進める。
- (2) 校区住民みんなで創るまちづくりの気風を高めるために、広報紙をはじめとした様々な情報機器を活用した情報発信の取組を進める。
- (3) 協議会組織の機能強化を図るため、役員会・運営委員会・部会での共通理解や役割分担を図り、活動の活性化を進める。
- (4) まちづくりプラン（地域振興5ヶ年計画）を策定し、部会が主体となった取組を進める。
- (5) 各種事業の実施にあたっては、「企画・実施・評価・改善」のサイクルによる取組を推進し、より充実した地域づくりを進める。
- (6) 鹿児島市など関係機関・団体とも積極的に連携を図り、協働による事業の取組を進める。
- (7) まちづくり活動を通し、地域コミュニティ組織間の連携や住民間のふれあい交流の充実に努める。
- (8) 事務局機能の充実に努め、様々な相談や事務処理等への支援を行う。

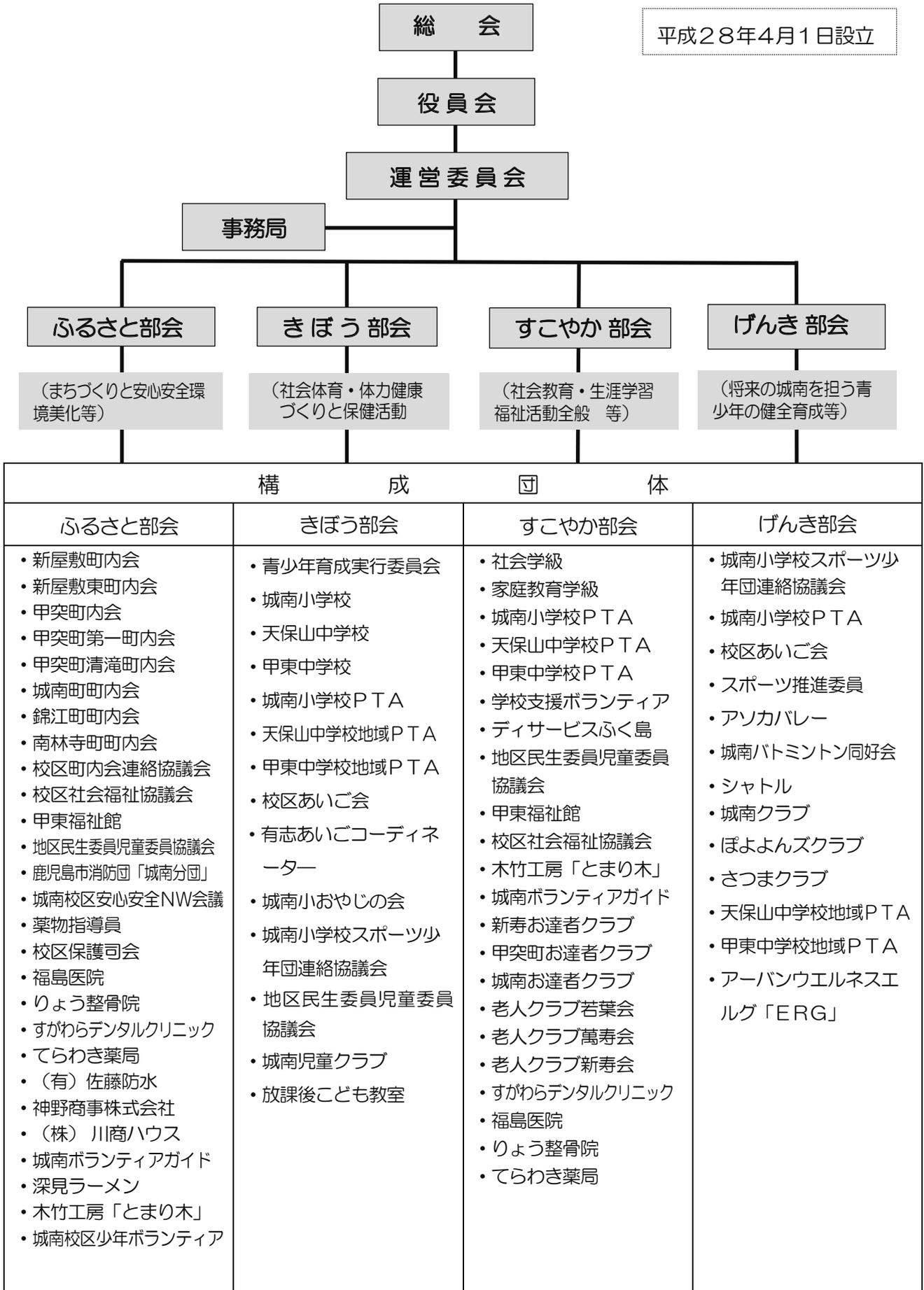


役員会の様子



運営委員会の様子

#### 4 協議会の組織



## 5 活動の体系

潮風薫る歴史と文化 人情と笑顔があふれ 希望の花咲く ふるさと城南

部会	基本方針	活動領域	第2期実施事業
ふるさと部会	歴史と文化の伝承、美しく安心して暮らせる活力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や歴史を生かす活動</li> <li>・防火防犯活動</li> <li>・安全点検活動</li> <li>・環境美化活動</li> <li>・町内会活動への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲突川とカヌー体験</li> <li>・防犯（安全）パトロール</li> <li>・六月灯安全見守り活動</li> <li>・防火・防災と減災研修会</li> <li>・危険箇所点検環境浄化</li> <li>・暴力追放事前学習会</li> <li>・城南校区暴力追放総決起大会</li> <li>・「クリーンシティかごしまの日」地域一斉清掃</li> </ul>
きぼう部会	将来の城南を担う青少年の健全育成、子育てをみんなで支えるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ、声かけ運動</li> <li>・異年齢集団活動</li> <li>・青少年の体験活動</li> <li>・青少年育成団体への支援</li> <li>・子育て支援活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔いっぱいあいさつ運動</li> <li>・城南ふるさとまつり</li> <li>・祇園祭り（子ども神輿）</li> <li>・立志祝</li> <li>・昔の遊びをしよう</li> <li>・中高校生と語る会</li> <li>・児童クラブへの運営支援</li> <li>・城南子育て支援会議</li> </ul>
すこやか部会	ふれあいと学ぶ喜び、共に支え合い幸せを感じるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ふれあい活動</li> <li>・高齢者、障がい者支援活動</li> <li>・地域ボランティア活動</li> <li>・社会教育学級の開設</li> <li>・生きがいづくり講座</li> <li>・人権問題学習会</li> <li>・自主学習グループの育成</li> <li>・生活文化等の伝承活動</li> <li>・学習、文化活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドゴルフ大会</li> <li>・福祉施設と事業所等訪問</li> <li>・社会学級の開設</li> <li>・人権問題研修会</li> <li>・家庭教育学級への支援</li> <li>・ふるさと歴史めぐり</li> <li>・ハンドメイドづくりで世代間交流</li> <li>・男の料理教室</li> <li>・ミニ展示会ミニサロンの開設</li> <li>・郷土料理講習会</li> </ul>
げんき部会	ふれあいや健康体力づくりで元気いっぱい長寿のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり活動</li> <li>・スポーツクラブ等の育成</li> <li>・スポーツ教室の開催</li> <li>・スポーツ推進委員との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区大運動会</li> <li>・楽しく学ぶストレッチ体操、ニュースポーツ教室</li> <li>・少年団活動の支援</li> <li>・健康づくり活動（住民体カテスト、相談活動）</li> <li>・城山登山歩こう会</li> </ul>

## 6 各部会等の活動

### (1) ふるさと部会

基本方針：歴史と文化の伝承、美しく安心して暮らせる活力あるまちづくり

- 先人たちの築いた歴史や文化の継承・保存に努めながら、まちづくりの基盤である町内会活動の活性化や様々な地域課題の把握及び解決策を検討する。
- 住民同士がふれあいや絆を深めたり、生活文化等を学ぶ歳時行事を復活させたりして地域の活性化を図る。
- 住民の安心安全な暮らしが確保できるよう「防火・防災・防犯・交通問題」等への事業推進に努める。
- 美しいまちづくりを目指し、地域ぐるみの清掃や美化活動を積極的に推進する。

	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール(年度)				
				4	5	6	7	8
1	甲突川と カヌー体験	子どもたちに、甲突川を活用した「カヌー体験」を提供し、自然の偉大さを学ばせる。	ふるさとの甲突川でのカヌー体験を通し、挑戦する心や頑張りぬく心、感謝の心などを学ぶとともに、愛郷心が高められる。	○	○	○	○	○
2	防犯(安全) パトロール	青色防犯パトロール隊による校区内のパトロールを実施する。	定期的なパトロールにより地域環境の改善や犯罪の抑止が図られ、安心安全に暮らせる城南校区づくりが推進される。	○	○	○	○	○
3	6月灯安全 見守り活動	安全な中で行事が行われるよう事故防止の見守りや指導活動を進める。	ふるさとの夏の行事の伝承、良き思い出づくり、町内会会員の交流や活動の充実が図られる。	○	○	○	○	○
4	防火・防災と 減災研修会	専門家を招いて災害発生と対応等を学んだり実体験をしたりする研修会を開催する。	災害発生時の地域・個人としてのあり方、講話や訓練で減災の知識を学び、住民の防災への意識が高まり減災へ繋がる。	○	○	○	○	○
5	危険箇所点検 環境浄化	校区内の様々な危険箇所及び有害図書等の点検活動を行う。	危険箇所点検により青少年の健全育成はもとより、地域住民すべての事故防止が図られ、安全な城南地域のまちづくりが図られる。	○	○	○	○	○
6	暴力追放 事前学習会	決起大会の開催前に、防犯に関する課題をテーマとした事前学習会を実施する。	事前研修会で暴力追放決起大会のテーマを学び合い、暴力追放総決起大会の充実が図られる。	○	○	○	○	○
7	城南校区暴力追 放総決起大会	いじめの根絶やあらゆる暴力の追放などの防犯意識を高める決起大会を行う。	いじめをはじめ様々な暴力をしない、させない運動の展開が推進され、思いやりのあるやさしいまちづくりに貢献する。	○	○	○	○	○
8	「クリーンシティ かごしまの日」地 域一斉清掃	美化活動への参加意欲を高めるとともに、町内会を範囲とした美化清掃活動を進める。	郷土を愛する心、住民同士のふれあいや絆づくり、町内会及び各種団体、事業所等の地域奉仕活動の充実が図られる。	○	○	○	○	○

(2) きぼう部会

基本方針： 将来の城南を担う青少年の健全育成、子育てをみんなで支えるまちづくり

- 将来の城南を担う青少年の健やかな成長をめざす様々な育成事業を展開する。
- あいごとと連携し、青少年健全育成の地域環境浄化活動に努める。
- 家庭や地域の教育力を高める諸活動を推進する。
- 幼・小・中学校との緊密な連携を図りながら青少年育成・課題等に関する情報交換を行う。
- 子育て悩み相談活動や子育てサークル等を育て、支援活動を推進する。

	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール(年度)				
				4	5	6	7	8
1	笑顔いっぱいあいさつ運動	月1回の「笑顔あいさつ実践日」を設け、各団体ごとに実践活動、標語募集を進める。	校区内の隅々まで笑顔の花が咲き、あいさつ声かけで住民の心と心のふれあいが進み共に生きる地域が進む。	○	○	○	○	○
2	城南ふるさとまつり	「七夕まつり」の継承を図るとともに、中学生が主体的に企画し住民交流の場とする。	中学生を中心にふるさとまつりの企画を行い、青少年の異年齢集団活動が図られ、ふるさとを担うリーダーの育成が図られていく。	○	○	○	○	○
3 新	祇園祭り (子ども神輿)	あいごとと連携して市の伝統行事「祇園祭り」に参加し、神輿の飾りつけや行列の体験をする。	市の代表的な行事にふれることで、伝統文化を守る意義を理解し、担ぐ神輿で仲間とのふれあいや協調性が図られる。	○	○	○	○	○
4	立志祝	元服を迎えた中学校2年生を祝福し、目標の大切さや社会を生き抜く機会とする。	支えられている感謝の気持ち、これからの人生に夢を持ち、波濤を乗り越えたくましく生き抜いていく青年の育成がなされていく。	○	○	○	○	○
5	昔の遊びをしよう	高齢者とのふれあい活動として、伝統文化である正月遊びや餅つきに挑戦する。	正月行事や風習などを学ぶとともに、正月前後に行われるふるさに伝わる遊びを体験し、その楽しさ等を伝承していく。	○	○	○	○	○
6	中高校生と語る会	中高校生との対話などで意見交換し、交流を通してまちづくりへの関心を高める。	生き方やまちづくりへの夢や希望等について述べ合い、リーダーとしてふるさとの未来を創造させ、地域づくりへの参画を図る。	○	○	○	○	○
7	児童クラブへの運営支援	放課後の児童生活支援として設置した城南児童クラブの運営等に対する支援に努める。	城南児童クラブの運営が所期の目的を十分に達成できるように支援に努め、校区内の子育て支援の充実が図られる。	○	○	○	○	○
8	城南子育て支援会議	子育てに関する関係団体や行政機関が一堂に会し、情報交換を行う場を設ける。	子育てに関わる関係機関間の連携で、校区内の現状把握や課題解決に向けた取組みへの共通理解が図られ子育て支援が強化される。	○	○	○	○	○

### (3) すこやか部会

基本方針：ふれあいと学ぶ喜び、共に支え合い幸せを感じるまちづくり

- 校区住民がふれあいを深めながら地域課題解決や生きがい、地域づくりに向けた社会教育や生涯学習活動の推進に努める。
- まちづくりに取り組む社会教育関係団体の育成を推進する。
- 小・中学校への支援活動を推進する。
- 地域公民館との連携を図り、住民の学習活動の機会を確保する。
- 少子高齢化社会への対応、地域をはじめ様々な福祉活動の推進を図り、共に支え合い「しあわせ」を感じるやさしいまちづくりを推進する。

	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール(年度)				
				4	5	6	7	8
1	グラウンドゴルフ大会	誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を開催する。	グラウンドゴルフ大会の開催で多くの住民の参加が期待され、ふれあいにより友情や仲間づくりが育まれる。	○	○	○	○	○
2	福祉施設と事業所等訪問	福祉施設や公共的事業所等の訪問で、福祉のあり方などの見識を深める。	福祉施設、事業所等の見学で、役割や入所者の様子、入所に関する手続き等を学び、対象者を持つ住民の課題解決の一助となる。	○	○	○	○	○
3 変更	社会学級の開設	社会生活に必要な教養の向上を図り、その成果を家庭やまちづくりに生かす。	地域人としての教養を高めることで、豊かな家庭生活や活気ある地域づくりの推進に貢献することができる。	○	○	○	○	○
4	人権問題研修会	諸人権問題に関する学習の機会を設け、心豊かな校区民の育成を図る。	すべて人は人として尊重され自由で平等である意識が高まり、差別や偏見がなくなり、思いやりのあるまちづくりが進められる。	○	○	○	○	○
5	家庭教育学級への支援	健全な子どもの育成や親としての資質を高める学習活動を支援する。	子どもを持つ保護者の学習会の運営等の支援で学級の運営が円滑に行われ、家庭の教育力の向上が図られる。	○	○	○	○	○
6	ふるさと歴史めぐり	高齢者を対象に、明治を中心に国造りに活躍した偉人や史跡を訪問する。	ふるさと城南やかごしまの素晴らしさを再発見し、地域への誇りと愛着が醸成され、次世代への継承の意識が高まる。	○	○	○	○	○
7	ハンドメイドづくりで世代間交流	高齢者の孤立や孤独を防ぐことを目的に、子どもたちと交流の場を設ける。	高齢者は子どもから元気を、子どもたちは高齢者から言葉遣いや礼儀作法等を学ぶコミュニケーションが図られる。	○	○	○	○	○
8	男の料理教室	料理の楽しさを体感し、自ら食事の準備ができるよう料理づくりに挑戦する。	料理のレシピを作成、手順に従って料理づくりへ挑戦し、高齢期の食のあり方や大切さを学び、日常生活での実践化が推進される。	○	○	○	○	○
9 変更	ミニ展示会・ミニサロンの開設	住民の生涯学習活動の成果発表の場を、語らいの場としてミニサロンを開設する。	活動の発表や展示の機会を設けることで、生涯学習活動への意欲が高まり、生きがいづくりや地域活動への参加が期待できる。	○	○	○	○	○
10 新	郷土料理講習会	女性を中心として、正月やお盆の行事などにつくる郷土料理に挑戦する。	昔からの郷土料理を学ぶことによりマンネリ化した家庭料理を見直す機会とすることができる。	○	○	○	○	○

#### (4) げんき部会

基本方針：ふれあいや健康体力づくりで元気いっぱい・長寿のまちづくり

- 健康・体力づくりを目指すスポーツ活動への積極的な参加を啓発する。
- 子どもから高齢者までの全ての住民がふれあいや交流が図れるスポーツイベントを開催する。
- 健康ですこやかな生活が送れるよう健康維持・増進を学ぶ講座、研修活動を実施する。
- スポーツ推進委員や民間スポーツ施設等の連携で生涯スポーツの振興を図る。

	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール(年度)				
				4	5	6	7	8
1	校区大運動会	校区大運動会での交流や連帯意識が深まる競技を実施する。	住民同士のふれあいの機会が増し、連帯意識の向上や心の結集が図られ、地域の活性化が促進される。	○	○	○	○	○
2 新	楽しく学ぶストレッチ体操・ニュースポーツ教室	健康づくりに取り組みようとしている人たちの相談の場を設け、体力テストを実施する。	相談活動により健康や体力づくりへの関心が高まり、体力テストの結果から、自己の実態を知り、それぞれに応じた体力づくりへの取組が推進される。	○	○	○	○	○
3	少年団活動の支援	スポーツ少年団への参加促進、大会や練習等へ支援し、団運営並びに維持を支援する。	少年団の参加促進により児童だけにとどまらず保護者（育成会）、指導者及び地域の方々の絆も深まり地域づくりへの貢献が期待できる。	○	○	○	○	○
4 新	健康づくり活動(体力テスト・相談活動)	民間スポーツ施設との連携及びスポーツ推進委員による体操やニュースポーツ教室を開催する。	プロのインストラクターによる適切なプログラムの提供及びスポーツ推進委員による教室の開催は、健康・体力づくりの効果と参加促進が期待できる。	○	○	○	○	○
5	城山登山歩こう会	自然に親しみ、先人たちの偉業を学び、仲間と語り励まし合いながら城山登山に挑戦する。	歩こう会を通し、親子のふれあいや仲間づくりが図られる。また郷土の歴史や偉人たちに学ぶ機会とすることができる。	○	○	○	○	○



城山登山歩こう会

(5) 三役会・事務局

	事業名	事業内容	事業効果	事業スケジュール(年度)				
				4	5	6	7	8
1	広報紙「しおかぜ」発行	協議会の情報を「しおかぜ」として発信し、校区住民、構成団体等に事業の案内、周知を行う。	事業内容を周知することにより、事業への参加と協力及び協議会を身近に感じることができ、協議会との一体感が生まれる。	○	○	○	○	○
2	「ホームページ」の開設	インターネットをはじめとした通信機器による情報発信を行う	幅広い世代への情報発信や手軽に協議会の情報が得られ、協議会への理解と協力が図られる。	○	○	○	○	○
3 新	先進地協議会への視察	先進地の協議会を視察して、本協議会に生かせる活動がないかを研究・検討する。	他の協議会を視察することにより、新たな活動状況が発見でき、次期計画に反映させ、校区の活性化につながる。	○	○	○	○	○



先進地研修視察  
(薩摩川内市大馬越コミュニティ協議会)



先進地研修視察(吹上町の塩作り)

資 料

【 主な史跡・施設・街並み等 】



乃木静子夫人像



旧塩屋町銘板（甲突町）



心なだま  
船魂神社



塩屋水神社



しおがま  
塩竈神社



天保山橋



魚類市場



新港道路（新天保山ブリッジ）

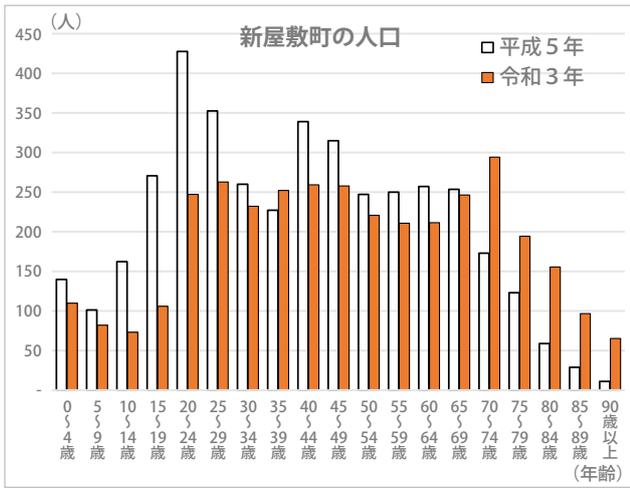


がんがら（丸瓦羅）橋

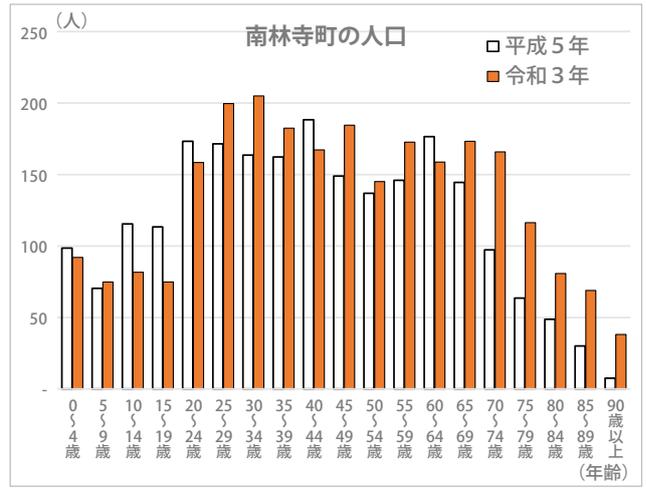


思案橋

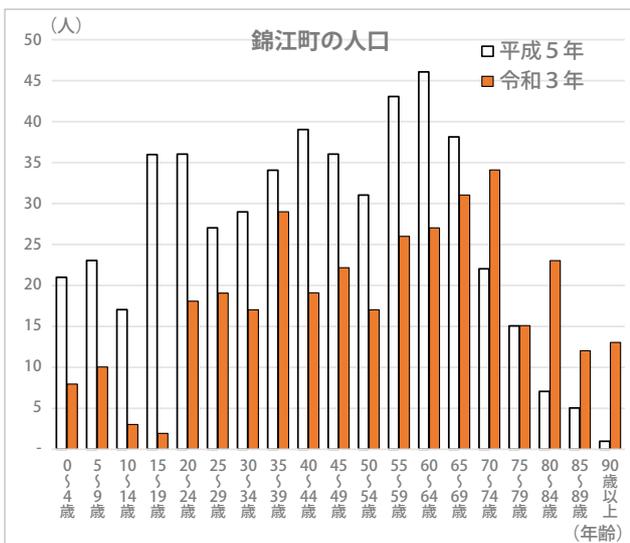
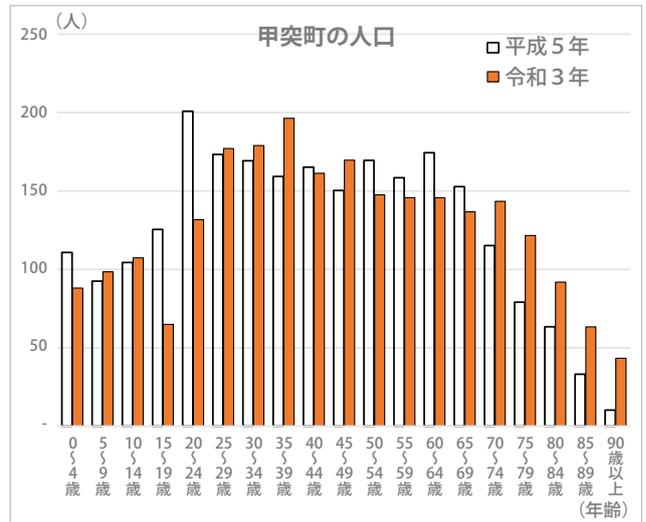
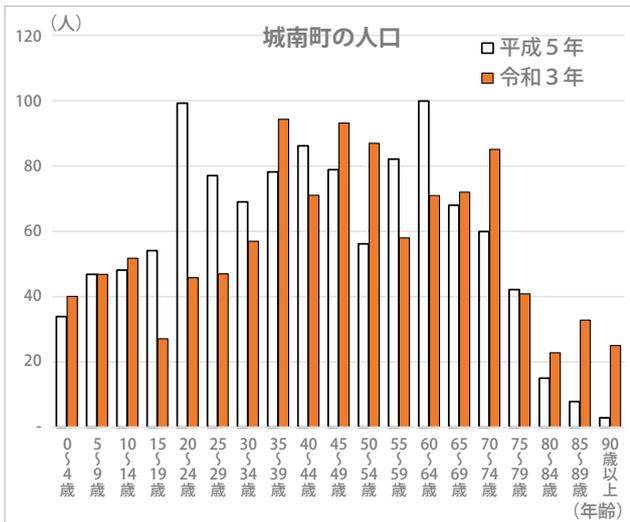
# 【 各町別の人口 1 】



校区外（松原校区）を含む



校区外（松原校区）を含む



## 【 各 町 別 の 人 口 2 】

校区の町別人口等の推移（1期プランと2期プランとの比較）

（市推計人口による）

町名・町内会名		世帯数(世帯)		人 口 (人)		町内会会員数(世帯)	
		平29.1	令4.1	平29.1	令4.1	平29年度	令3年度
新屋敷町	新屋敷町内会	2,388	2,509	3,611	3,678	160	170
	新屋敷東町内会					318	272
甲突町	甲突町内会	1,615	1,521	2,750	2,534	175	130
	甲突町清滝町内会					150	150
	甲突町第一町内会					140	125
城南町町内会		655	622	1,136	1,056	170	160
錦江町町内会		206	230	347	342	150	86
南林寺町町内会		1,511	1,568	2,570	2,553	382	364
合 計		6,375	6,450	10,414	10,163	1,645	1,457

- ※ 1 新屋敷町及び南林寺町は、松原校区を含む。  
2 町内会加入率は、22.6%

## 【 構成団体アンケートの調査結果 】

### 2期目5ヶ年計画策定のためのアンケート調査結果（構成団体向け）

項 目	ア. 関りをもった		イ. 関りはない		ウ. 協力(参加)しようと思っている		計 件数
	件数	%	件数	%	件数	%	
1 甲突川とカヌー体験	18	51.4	11	31.4	6	17.2	35
2 防火・防災・減災研修会	8	22.9	7	20.0	20	57.1	35
3 暴力追放決起大会	22	62.8	5	14.3	8	22.9	35
4 クリーンシティかごしまの日	16	45.7	8	22.9	11	31.4	35
5 城南ふるさと祭り	18	51.4	6	17.2	11	31.4	35
6 城山登山歩こう会	5	14.3	22	62.8	8	22.9	35
7 ふれあいグラウンドゴルフ大会	13	37.1	10	28.6	12	34.3	35
8 校区大運動会	19	54.3	5	14.3	11	31.4	35
9 少年団活動の育成・支援	7	20.0	13	37.1	15	42.9	35

#### （まちづくりへの意見）

- 1 「しおかぜ」に年間の行事予定を載せていただければ、予定を立て易いです。
- 2 「しおかぜ」とは別に構成団体向けの広報紙を年2~3回発行する。
- 3 構成団体も参加できる文化行事の検討（バザー、祭り等）。
- 4 構成団体の中でも企業等に対する周知が不足しているのでは。
- 5 高齢者でも行き慣れた場所で参加できる行事を期待しています。
- 6 高齢者と子どもの物作り会。
- 7 小学生以下の子ども（保育園児等）に対する行事への参加と周知は。
- 8 おはら祭りへの参加。
- 9 校区の学生さん方を地域行事や活動に参加させていくとが、次世代の人材育成につながるのではないかと。
- 10 町内会に任ず行事もあるのではないかと。

#### （その他）

- 1 鹿児島市衛生組織連合会では、4つの専門部会で部会ごとに、年間計画を立ててそれぞれ活動しています。
- 2 弊社が有するマンパワーや施設等、まちづくり活動に協力できることは積極的に協力したい。
- 3 城南町お逢者クラブは、校区公民館で活動しています。1年生と「昔の遊びをしよう」は好評です。高齢者が元気をもらっています。
- 4 城南町町内会では、グラウンドゴルフ同好会を立ち上げ体育指導員のお世話になっています。
- 5 薬局として、協力できることは協力します。
- 6 何かできることがあれば、協力したい。
- 7 まちづくりの役員の皆様ご苦勞様です。できるだけ協力したい。城南校区が住みよい町になっていくこと、楽しく嬉しく思います。

【 プラン策定委員会名簿 】

役 職	協議会役職	氏 名	所 属 団 体	備 考
委員長	会 長	永 田 哲 夫	南林寺町町内会	
副委員長	副会長	中 島 和 美	甲突町清滝町内会	
//	//	上 川 雅 重	甲突町第一町内会	
書記会計	書記会計	永 野 栄美子	甲突町第一町内会	
委 員	ふるさと部会	部会長	堀 澄 久	新屋敷町内会
//		副 //	神 品 吉 己	南林寺町町内会
//		副 //	野 添 真 恵	新屋敷東町内会
//		副 //	原 田 正 孝	城南小学校教頭
//	きぼう部会	部会長	中 村 智 貴	城南町町内会
//		副 //	安 楽 万里子	校区あいご会
//		副 //	永 仮 由加里	天保山中地域PTA
//		副 //	下 野 淑 子	甲東中地域PTA
//	すこやか部会	部会長	徳 留 光 子	新屋敷東町内会
//		副 //	増 田 紀 一	社会学級
//		副 //	杉 元 スミ子	社会学級
//		副 //	山 崎 浩 子	甲突町内会
//	げんき部会	部会長	佐 藤 高 広	城南スポーツ少年団連絡協議会
//		副 //	藤 原 正 則	城南小PTA
//		副 //	西 辰 己	錦江町町内会
//		副 //	島 ちなみ	新屋敷町内会
事務局	事務局職員	上 川 幸 代	甲突町第一町内会	

城南校区まちづくりプラン  
(地域振興計画)

[令和4年度～8年度版]

令和4年4月1日発刊  
城南校区まちづくり協議会